

群馬工業高等専門学校

自己点検・評価書

令和5年3月

群馬工業高等専門学校評価委員会

目次

点検の視点と点検項目		ページ数
序文		5
項目1 教育の内部質保証システム		6
1-1	教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に学校教育法第109条第1項に規定される自己点検・評価(数理・データ・サイエンス・AI教育プログラムを含む)を行い、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための教育研究活動の改善を継続的に行う仕組み(以下「内部質保証システム」という)が整備され、機能していること。	6
	1-1-① 教育活動を中心とした学校の活動の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されているか。	6
	1-1-② 内部質保証システムに基づき、根拠となるデータや資料に基づいて自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。	6
	1-1-③ 学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が自己点検・評価に反映されているか。	7
	1-1-④ 自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような組織としての体制が整備され、機能しているか。	12
	1-1-⑤ 自己点検・評価の実施方法(項目の見直し、追加等)等が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。	14
	1-2 準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業(修了)の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)(以下「三つの方針」という。)が学校の目的を踏まえて定められていること。	14
	1-2-① 準学士課程、専攻科課程それぞれのディプロマ・ポリシーが学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	14
	1-2-② 準学士課程、専攻科課程それぞれのカリキュラム・ポリシーが、ディプロマ・ポリシーと整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	15
	1-2-③ 準学士課程、専攻科課程それぞれのアドミッション・ポリシーが学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	15
1-3	学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されていること。	17
	1-3-① 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。	17
項目2 教育組織及び教職員等		19
2-1	学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。	19
	2-1-① 学科及び専攻科の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。	19
	2-1-② 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動が行われているか。	19
2-2	教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。	20
	2-2-① 準学士課程において学校の目的を達成するために必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。	20
	2-2-② 専攻科課程において学校の目的を達成するために必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されているか。	22
	2-2-③ 学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が講じられているか。	22
2-3	全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われていること。また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。	24
	2-3-① 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。	24
	2-3-② 教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用されているか。	25
2-4	教職員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われていること。また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等(事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。)が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。	26
	2-4-① 授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究(ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。))が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。	26
	2-4-② 学校における教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置されているか。	27
	2-4-③ 教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。	27
項目3 管理運営		29
3-1	学校の目的を達成するために必要な管理運営体制及び事務組織が整備され、機能していること。また、外部の資源を積極的に活用していること。	29
	3-1-① 管理運営の諸規程が整備され、各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。	29
	3-1-② 危機管理を含む安全管理体制が整備されているか。	29
	3-1-③ 外部資金を積極的に受入れる取組を行っているか。	31
	3-1-④ 外部の教育資源を積極的に活用しているか。	31
	3-1-⑤ 管理運営のための組織及び事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組(スタッフ・ディベロップメント(以下「SD」という。))が組織的に行われているか。	32
	3-2 学校の教育研究活動等の状況やその活動の成果に関する情報を広く社会に提供していること。	32
3-2	3-2-① 学校における教育研究活動等の状況についての情報(学校教育法施行規則第172条の2に規定される事項を含む。)が公表されているか。	32
項目4 学生の受入れ		35
4-1	入学者の選抜が、アドミッション・ポリシーに沿って適切な方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。	35
	4-1-① 【準学士課程及び専攻科課程共通】アドミッション・ポリシーに沿って適切な学生の入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	35

点検の視点と点検項目				ページ数
		4-1-②	【準学士課程及び専攻科課程共通】アドミッション・ポリシーに沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	35
		4-1-③	実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。	36
項目5	学習・教育・研究の成果			37
	5-1	【準学士課程】ディプロマ・ポリシーに照らして、学習・教育の成果が認められること。		37
		5-1-①	成績評価・卒業認定の結果から判断して、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	37
		5-1-②	達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見聴取の結果から判断して、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	37
		5-1-③	就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	38
	5-2	【専攻科課程】ディプロマ・ポリシーに照らして、学習・教育・研究の成果が認められること。		38
		5-2-①	成績評価・修了認定の結果から判断して、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	38
		5-2-②	達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	39
		5-2-③	就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	40
		5-2-④	修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	40
項目6	教育課程・教育方法			41
	6-1	準学士課程のカリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。		41
		6-1-①	カリキュラム・ポリシーに基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	41
		6-1-②	教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。	41
		6-1-③	創造性・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。	42
	6-2	準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。		42
		6-2-①	カリキュラム・ポリシーに照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	42
		6-2-②	カリキュラム・ポリシーの趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。	43
	6-3	準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)並びに卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。		45
		6-3-①	成績評価・単位認定基準が、カリキュラム・ポリシーに従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	45
		6-3-②	卒業認定基準が、ディプロマ・ポリシーに従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。	46
	6-4	専攻科課程のカリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程のカリキュラム・ポリシー並びにディプロマ・ポリシーに基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。		47
		6-4-①	カリキュラム・ポリシーに基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	47
		6-4-②	準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。	47
		6-4-③	カリキュラム・ポリシーに照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	47
		6-4-④	カリキュラム・ポリシーに基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。	48
		6-4-⑤	成績評価・単位認定基準が、カリキュラム・ポリシーに従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	48
		6-4-⑥	修了認定基準が、ディプロマ・ポリシーに従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。	49
項目7	学習環境及び学生支援等			51
	7-1	学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。		51
		7-1-①	学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。	51
		7-1-②	教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。	56
		7-1-③	図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。	58
	7-2	教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。		59
		7-2-①	履修等に関するガイダンスを実施しているか。	59
		7-2-②	学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	60
		7-2-③	特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。	62
		7-2-④	学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	65
		7-2-⑤	就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。	66
		7-2-⑥	学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。	68

点検の視点と点検項目				ページ数
		7-2-⑦	学生寮が、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。	68
	7-3		学校として、いじめの未然防止、早期発見、事案対処(いじめの防止等)の体制が整備され、機能していること。	69
		7-3-①	いじめを防止するための体制を適切に整備し、学生に周知しているか。	69
		7-3-②	いじめに関する学生アンケート等を行う等適切に把握し、未然防止・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	71
		7-3-③	教職員に対して、いじめを防止するための教育・研修等を定期的実施しているか。	72
項目8	研究活動、地域貢献活動、国際交流の状況			74
	8-1		学校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果が得られていること。	74
		8-1-①	研究活動に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めているか。	74
		8-1-②	研究活動の目的等に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。	74
		8-1-③	研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。また、問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。	75
	8-2		学校の地域貢献活動等に関する目的等に照らして、地域貢献活動が適切に行われ、活動の成果が認められていること。	76
		8-2-①	地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めているか。	76
		8-2-②	地域貢献活動等の目的に照らして、活動が計画的に実施されているか。	76
		8-2-③	地域貢献活動等の実績や活動参加者等の満足度等から判断して、目的に沿った活動の成果が認められるか。また、問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。	77
	8-3		国際交流を行う体制が整備され、機能していること。	77
		8-3-①	国際交流を実施する上で必要な運営体制を整備し、機能しているか。	77
		8-3-②	学生・教職員の国際交流支援体制を整備し、機能しているか。	78

序文

近年、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、社会情勢や教育環境も大きく変化している中、教育システムにおいては飛躍的に高度化が進展し、教育の質の評価及びPDCAサイクルに代表される改善システムによる評価が一層求められています。

本校では、平成26年度の機関別認証評価において、「教育の質の向上および改善のためのシステム」と「管理運営」の面において、自己点検・評価ならびに外部評価の不備の指摘を受けました。その指摘を踏まえ、自己点検・評価委員会規則を制定(令和2年度より「評価規則」に統合)し、自己点検・評価と外部有識者による外部評価を交互に実施してきました。6年を1サイクルとして点検・評価を行い、令和3年度に7年に1度の機関別認証評価を受審して、一巡しました。

令和3年度の機関別認証評価では、評価項目や評価書の書式などが大きく変更されていたことから、令和4年度当初に評価規則を再度改正し、実施計画と点検・評価項目、評価書の記述方式について見直しを行いました。その結果、自己点検・評価項目を8つに分類し、計203項目を点検・評価項目としたほか、記述方式をチェック方式とし簡便化しました。また、自己点検・評価項目を2分割にし、前半の項目の自己点検・評価と外部独自評価をそれぞれ1年目と2年目、後半を3年目と4年目で行い、5年目ではそれらを合せた全項目の自己点検・評価を実施することにしました。

令和4年度は、その切り替え初年度に該当し、「教育の内部質保証システム」、「組織・管理体制」、「学習環境と学生支援及び各種活動状況」の項目で計134項目について点検・評価を実施しました。

令和5年度は、本年度の自己点検・評価結果について外部有識者による評価を予定しております。これらの評価をととして本校では今後とも質の高い教育・研究活動のため不断に見直しと改善に努めてまいります。

本報告書は評価委員会自己点検・評価専門部会を立ち上げ、令和4年7月から11月までの期間でとりまとめつつ、その後の校内の取組についても盛り込んでいます。教職員はもちろんのこと本校関係者には、令和4年度の報告書をご一読いただき、ご指導ご鞭撻をいただきたいと思います。

令和5年3月

群馬工業高等専門学校長 三谷 卓也

項目1 教育の内部質保証システム

1-1 教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に学校教育法第109条第1項に規定される自己点検・評価(数理・データ・サイエンス・AI教育プログラムを含む)を行い、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための教育研究活動の改善を継続的に行う仕組み(以下「内部質保証システム」という。)が整備され、機能していること。

1-1-①

教育活動を中心とした学校の活動の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 定期的に自己点検・評価を実施するための方針を定めているか。	☒ はい ☐ いいえ	方針は、群馬工業高等専門学校評価規則の中で定めている。	資料 1-1-①-01_評価規則	
(2) (1)の方針において、自己点検・評価の実施体制(委員会等)を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	実施体制は、評価規則の中で定めている。委員会は、評価委員会を中心に行う仕組みとなっている。	資料 1-1-①-01_評価規則 資料 1-1-①-02_改善 PDCA サイクル図 資料 1-1-①-03_自己点検評価と対応委員会	*
(3) (1)の方針において、若しくは同方針に基づいて、自己点検・評価の基準・項目等を設定しているか。	☒ はい ☐ いいえ	基準項目は、評価規則の中で定めている。	資料 1-1-①-01_評価規則	*

1-1-②

内部質保証システムに基づき、根拠となるデータや資料に基づいて自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 根拠となるデータや資料等を担当する組織の体制が整備されており、定期的に収集・蓄積しているか。	☒ はい ☐ いいえ	資料等の担当組織は、事務組織規則にも定めている。	資料 1-1-②-01_根拠資料と収集蓄積状況	*

			資料 1-1-①-02_改善とPDCA サイクル図 資料 1-1-①-03_点検評価項目と対応委員会 資料 1-1-②-02_事務組織規則 資料 1-1-②-03_定期的な資料収集の申し合わせ	*
(2) 自己点検・評価を定期的に実施しているか。	☒ はい ☐ いいえ	評価規則(p. 5)に実施時期を定めている。自己点検・評価は2年ごとに実施しており、2年毎に評価項目は異なる。	資料 1-1-①-01_評価規則 資料 1-1-②-04_令和2年度自己点検評価書 資料 1-1-②-05_平成30年度自己点検評価書 資料 1-1-②-06_平成28年度自己点検評価書	*
(3) (2)の結果を公表しているか。	☒ はい ☐ いいえ	群馬高専ホームページに公表 公表先 URL: https://www.gunma-ct.ac.jp/school_info/evaluate/	資料 1-1-②-07_ホームページ自己点検・評価、外部評価公表	

1-1-③

学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が自己点検・評価に反映されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 自己点検・評価の実施に際して、意見聴取を実施しているか。(以下:聴取対象者例)	☒ はい ☐ いいえ	【教員】学校長による教員対象の面談が行われている。	資料 1-1-③-01_校長面談	

① 教員 ② 職員 ③ 在学生 ④ 卒業(修了)時の学生 ⑤ 卒業(修了)から一定年数後の卒業(修了)生 ⑥ 保護者 ⑦ 就職・進学先関係者		【職員】独立行政法人国立高等専門学校機構職員人事評価実施要領に基づく面談が行われている。 【教員】【職員】教職員はグループウェア内の「高専意見箱」で、意見や質問を投稿できる。 【在学生】全学生を対象とした面談が担任によって毎年実施されている。教育・学習の達成度・満足度アンケートも実施している。 【卒業(修了)時の学生】卒業・修了時の学生による教育・学習の達成度・満足度アンケートが実施されている。 【卒業(修了)から一定年数後の卒業(修了)生】不定期に、卒業(修了)から5年程度の卒業(修了)生を対象としたアンケートが実施されている。なお、令和2年度教育研究委員会で3年に一度実施する事を定め、今後は3年毎に実施することとした。	資料 1-1-③-02 職員人事評価実施要領 資料 1-1-③-03 意見書箱 資料 1-1-③-04 担任による学生面談実施資料 資料 1-1-③-05 卒業時・修了時学習アンケート結果 資料 1-1-③-06 卒業生・修了生対象アンケート	
--	--	--	--	--

		【保護者】保護者懇談会および新1年生保護者対象のアンケートが毎年実施されている。 【就職・進学先関係者】平成29年に就職・進学先関係者を対象としたアンケートを実施している。しかしながら、それ以降は実施できておらず、今後の改善を要する。	資料 1-1-③-07_保護者懇談会実施日程 資料 1-1-③-08_新1年生保護者意識調査集計結果 資料 1-1-③-09_就職・進学先関係者アンケート	
(2) 自己点検・評価の実施に際して、在学生・卒業(修了)時・卒業(修了)後・外部評価の結果等を踏まえて行っているか。 【在学生】 ① 学習環境に関する評価 ② 学生による授業評価 ③ 学生による教育・学習の達成度に関する評価(進級時・卒業(修了)前) ④ 学生による満足度評価(進級時・卒業(修了)前) 【卒業(修了)時】 ① 卒業(修了)時の学生による教育・学習の達成度に関する評価 ② 卒業(修了)時の学生による満足度評価 【卒業(修了)後】 ① 卒業(修了)後の学生による学習成果の効果に関する評価	☒はい ☐いいえ	【在学生】 ①学習環境に関する評価 ・全学年を対象とした学習環境について評価を実施している。 ・1年生を対象とした実態調査を実施している。 ②学生による授業評価 ・年2回、学生による授業評価アンケートを実施している。 ③学生による教育・学習の達成度に関する評価 ・年1回進級時等に学生による教育・学習の達成度に関するアンケートを実施している。	資料 1-1-③-10_学習環境調査集計結果 資料 1-1-③-11_1年生実態調査結果 資料 1-1-③-12_令和2年度群馬高専学生調査 資料 1-1-③-13_学生による授業評価・自己評価結果	

② 卒業(修了)後の就職・進学先等による学生の学習成果の効果に関する評価 【外部評価】 ① 外部有識者の検証(数理・データ・サイエンス・AI 教育プログラムを含む) ② 第三者評価(機関別認証評価・JABEE 等)		④学生による満足度評価 ・③に併せて、年 1 回進級時等に学生による教育・学習の満足度に関するアンケートを実施している。 【卒業(修了)時】 ・年 1 回、卒業時、修了時に学生による教育・学習の達成度及び満足度に関するアンケートを実施している。 【卒業(修了)後】 ・3 年に一度、卒業、終了後のおおよそ 5 年後の卒業生・修了生を目途に学習成果の効果を実施している。 【外部評価】 ・2 年に 1 度、外部評価を実施しており、直近では令和元年度、平成 29 年度に実施している。 ・機関別認証評価は、7 年に 1 度受審しており、直近では令和 3 年度、平成 26 年度に実施している。	資料 1-1-③-14 学生による教育・学習の達成度の評価(進級時、卒業(修了)前)評価 資料 1-1-③-05 令和 3 年度卒業・修了生学生アンケート 資料 1-1-③-06 平成 28 年度卒業生・修了生アンケート 資料 1-1-③-15 令和元年度外部評価報告書 資料 1-1-③-16 平成 29 年度外部評価報告書 資料 1-1-③-17 令和 3 年度機関別認証評価書 資料 1-1-③-18 令和 3 年度機関別認証評価書(選択評価事項) 資料 1-1-③-19 平成 26 年度機関別認証評価書	* *
---	--	---	--	-------------------

		度評価や教育改善に向けた意見聴取に関する結果がまとめられている。 資料 1-1-②-06_平成 28 年度自己点検評価書の p.3～5 に、教員の教育研究活動に対する評価が適切に行われていること、教育改善の仕組みが整備され、有効に機能していることが記載されている。また、同 p.11～15 に、自己点検や外部評価の結果をフィードバックするための仕組みが整備され、機能していることが記載されている。さらに、同資料編の p.58～78 に、在学生、保護者、卒業生、就職・進学先関係者からの意見・評価を集め、それらを学校運営に反映していることが記載されている。なお、同資料編 p.85～86 には在校生からの授業評価に対する教員へのフィードバック、同資料編 p.93, 95～96 には保護者からの授業見学による教員へのフィードバックについて記載されている。	資料 1-1-②-06_平成 28 年度自己点検評価書	*
--	--	--	--	---

1-1-④

自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような組織としての体制が整備され、機能しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような体制が整備されているか。	☒ はい ☐ いいえ	改善に向けた取り組みは、運営委員会を中心に行っている。	資料 1-1-①-01 評価規則 資料 1-1-①-02 改善と PDCA サイクル図 資料 1-1-①-03 自己点検評価と対応委員会	* * *
(2) 前回の自己点検・評価や第三者評価等における評価結果について、「改善を要する点」として指摘された事項への対応をしているか。	☒ はい ☐ いいえ	平成 26 年度機関別認証評価で指摘された事項において、改善の有無、状況について確認が取れていなかった項目は、自己点検・評価委員会（現「評価委員会」）に諮り、運営委員会にその対応状況の確認を行った。	資料 1-1-④-01 平成 26 年度機関別認証評価後の改善対応状況(会議資料) 資料 1-1-④-02 平成 26 年度機関別認証評価後の改善対応状況(議事概要)	
(3) (2)以外で、実際に、自己点検・評価や第三者評価等の結果に基づいて改善に向けた取組を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ	平成 29 年度、令和元年度において実施した外部評価の指摘事項に対する対応について、令和 2 年 12 月の運営委員会において評価委員会から各対応委員会へ是正を依頼した。その後、適宜進捗状況を評価委員会で確認して運営委員会へ報告している。 令和元年度に実施された外部独自評価での指摘事項において、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの整合性が取れていないとの指摘を受	資料 1-1-④-03 外部評価における指摘事項と対応 資料 1-1-④-04 ポリシーの見直し作業資料	

		けたため、3つのポリシーの見直しを行った。		
--	--	-----------------------	--	--

1-1-⑤

自己点検・評価の実施方法（項目の見直し、追加等）等が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 自己点検・評価の実施方法（項目の見直し、追加等）等について、社会の状況等を把握し、適宜点検する体制となっているか。	☒ はい ☐ いいえ	令和3年度、自己点検評価規則を改定し、点検する体制の確認、点検・評価年度の見直しを行った。	資料 1-1-①-01_評価規則	*
(2) 自己点検・評価の実施方法（項目の見直し、追加等）等について、社会の状況等を把握し、適宜点検しているか。	☒ はい ☐ いいえ	令和4年度から新たに自己点検・評価を行う中、機関別認証評価での評価項目、書式が変わったことから、自己点検・評価も見直しを行った。	資料 1-1-⑤-01_自己点検・評価方法の見直しについて（令和4年度）	

1-2 準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業（修了）の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）（以下「三つの方針」という。）が学校の目的を踏まえて定められていること。

1-2-①

準学士課程、専攻科課程それぞれのディプロマ・ポリシーが学校の目的を踏まえて明確に定められているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) ディプロマ・ポリシーを定めているか。	☒ はい ☐ いいえ	令和4年度学生便覧： 準学士課程（全学科共通）、学士課程（全専攻科共通）で定めている。	資料 1-2-①-01.3つのポリシー—資料 25～27 ページ	

(2) ディプロマ・ポリシーが、「何ができるようになるか」に力点を置き、準学士課程・専攻科課程全体、各学科・専攻科の目的と整合性を有しているか。	☒ はい ☐ いいえ	授業科目の流れに示されている[A]～[E]に区分し、それぞれの各課程に必要な要素を盛り込んで、整合性を図っている。	資料 1-2-①-01.3 つのポリシー —資料 25～27 ページ	*
(3) ディプロマ・ポリシーの中で、学生が卒業(修了)時に身に付ける学力、資質・能力、並びに、養成しようとする人材像等の内容を明確に示しているか。	☒ はい ☐ いいえ	卒業(修了)時に身に付ける学力、資質・能力、並びに、養成しようとする人材像等の内容を明確に示している。	資料 1-2-①-01.3 つのポリシー —資料 25～27 ページ	*

1-2-②

準学士課程、専攻科課程それぞれのカリキュラム・ポリシーが、ディプロマ・ポリシーと整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) カリキュラム・ポリシーを定めているか。	☒ はい ☐ いいえ	令和4年度学生便覧： 準学士課程(学科単位)、学士課程(専攻単位)で定めている。	資料 1-2-①-01.3 つのポリシー —資料 18～25 ページ	*
(2) カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーとの整合性を有しているか。	☒ はい ☐ いいえ	授業科目の流れに示されている[A]～[E]群の科目に沿って、カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの整合性を見直した。	資料 1-1-⑤-01_自己点検・評価の見直しについて(令和4年度)	*
(3) カリキュラム・ポリシーに、教育課程の編成、教育内容・方法、学習成果の評価方法について記載しているか。	☒ はい ☐ いいえ	教育課程の編成、教育内容・方法、学習成果の評価方法について記載している。	資料 1-2-①-01.3 つのポリシー —資料 18～25 ページ	*

1-2-③

準学士課程、専攻科課程それぞれのアドミッション・ポリシーが学校の目的を踏まえて明確に定められているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) アドミッション・ポリシーを定めているか。	☒ はい ☐ いいえ	準学士課程(全学科共通)、学士課程(全専攻共通)として定めている。	資料 1-2-①-01.3 つのポリシー—資料 17～18 ページ	*
(2) アドミッション・ポリシーは、学校の目的や各学科・専攻科の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえて策定しているか。	☒ はい ☐ いいえ	学校の目的や各学科・専攻科の目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえて策定している。	資料 1-2-①-01.3 つのポリシー—料 17～18 ページ	*
(3) アドミッション・ポリシーには、「入学者選抜の基本方針」、「求める学生像(受け入れる学生に求める学習成果を含む。)」を明示しているか。また、受け入れる学生に求める学習成果には「学力の3要素」に係る内容が含まれているか。	☒ はい ☐ いいえ	「学力の3要素」:①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度の対応について以下に示す。 【準学士課程】 1. 科学技術者になりたいという志を持っている人。〈②〉 2. 人類の繁栄と地球環境を守るための科学技術に関心のある人。〈②〉 3. 国際的な場で活躍したいという希望をもっている人。〈②,③〉 4. 工業技術に興味があり、自ら進んで学習する意欲のある人。〈③〉 5. 数学や理科などの自然科学系科目が得意で興味のある人。〈①〉 【学士課程】		

		1.科学技術者として活躍し、社会に貢献したいという高い志をもっている人〈①, ③〉 2.持続可能な開発目標のもとに人類の繁栄と地球環境を守るための科学技術に関心のある人〈③〉 3.国際的な場で活躍したいという希望をもっている人〈②,③〉 4.先進的な工業技術に興味があり、自ら進んで学習する意欲のある人〈②,③〉 理工学系科目が得意で探究心の高い人〈①〉		
--	--	---	--	--

1－3 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されていること。

1－3－①

学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、適宜点検する体制となっているか。	☒ はい ☐ いいえ	令和元年度において実施した外部評価の指摘事項において、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの整合性が取れていないとの指摘を受けたため、3つの方針について見直しを行った。	資料 1-2-①-01.群馬高専における3つのポリシー	*

(2) 学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、適宜点検し、改定しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 1-1-④-02_平成 26 年度 機関別認証評価後の改善対応 状況(議事概要)	*
--	--	--	---	---

項目2 教育組織及び教職員等

2-1 学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。

2-1-①

学科及び専攻科の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学科及び専攻科の構成が学校の目的及びディプロマ・ポリシーと整合性がとれているか。	☒ はい ☐ いいえ	学則に定める内容に基づき、ディプロマ・ポリシーを策定している。学則第7条に定める各学科の教育目的にも沿った形で、令和2～3年度にかけて3つのポリシーの見直しを行った。	資料 2-1-①-01_学則 資料 2-1-①-02_群馬高専における3つのポリシー	

2-1-②

教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動が行われているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制(教務・学生支援・入試等)を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 2-1-②-01_教務委員会規則 資料 2-1-②-02_厚生補導委員会規則 資料 2-1-②-03_専攻科委員会規則 資料 2-1-②-04_各種委員会開催回数等(校報 134 号より)(非公表)p.31	

(2) (1)の体制の下、必要な活動を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 2-1-②-05_令和 4 年度第 3 回教務委員会議事要旨(案) (非公表) 資料 2-1-②-06_令和 4 年度第 3 回厚生補導員委員会議事要旨(非公表)	

2-2 教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。

2-2-①

準学士課程において学校の目的を達成するために必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 一般科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。	☒ はい ☐ いいえ	「高等専門学校設置基準」(第 6 条)に従い一般科目担当の専任教員を確保している。 人文科学 計 12 名 自然科学 計 11 名 (令和 4 年度時点。内訳は参考資料を参照)	資料 2-2-①-01_一般科目担当教員一覧表 高等専門学校設置基準	
(2) 専門科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。	☒ はい ☐ いいえ	「高等専門学校設置基準」(第 6 条)に従い専門科目担当の専任教員を確保している。 機械工学科 計 11 名	資料 2-2-①-02_専門科目担当教員一覧表 高等専門学校設置基準	*

		電子メディア工学科 計 10 名 電子情報科 計 9 名 物質工学科 計 10 名 環境都市工学科 計 11 名 (令和 4 年度時点。内訳は参考資料を参照)		
(3) 専門科目を担当する専任の教授及び准教授の数を法令に従い、確保しているか。	☒ はい ☐ いいえ	「高等専門学校設置基準」(第 8 条)に従い確保している。	資料 2-2-①-03 職位ごとの教員数 高等専門学校設置基準	*
(4) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 2-2-①-04 一般科目担当授業一覧表 資料 2-2-①-05 専門科目担当授業一覧表	
(5) 適切な教員配置について専門分野以外に配慮していることがあるか。(以下:配慮の例) ① 博士の学位 ② ネイティブスピーカー(担当言語を母国語とする) ③ 技術資格 ④ 実務経験(教育機関以外の民間企業勤務経験等) ⑤ 海外経験 ⑥ その他	☒ はい ☐ いいえ	海外経験を有する教員、他学校・民間企業に従事した経験を有する教員を配置している。 応募資格に博士の学位を有すること、民間企業等での経験があることが望ましいとの条件を設けている。 英語を母国語とする教員を配置している。	資料 2-2-①-06 本校以外での勤務経験を持つ教員の数 資料 2-2-①-07 教員の公募における応募資格1 資料 2-2-①-08 教員の公募 電子情報・物質工学科 資料 2-2-①-09 ネイティブスピーカーシラバス	

2-2-②

専攻科課程において学校の目的を達成するために必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されているか(特例適用専攻科適用状況を含めて回答すること)。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 専攻科の授業科目担当教員を適切に確保しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 2-2-②-01_一般科目専攻科担当教員一覧表 資料 2-2-②-02_専門科目専攻科担当教員一覧表	
(2) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 2-2-①-04_一般科目担当授業一覧表 資料 2-2-①-05_専門科目担当授業一覧表	* *
(3) 適切な研究実績・研究能力を有する教員が研究指導を担当しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 2-2-②-03_令和4年度生産システム工学専攻特別研究課題一覧 資料 2-2-②-04_令和4年度環境工学専攻特別研究課題一覧	

2-2-③

学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が講じられているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 教員の配置について、教育研究水準の維持向上及び活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることのないよう配慮しているか。	☒ はい ☐ いいえ	「資料 2-2-③-01_教員年齢分布表」からは40歳未満の教員が全体に対して少ないことから、「資料 2-2-③-	資料 2-2-③-01_教員年齢分布表	

		02_教員の公募における応募資格等2」のように必要に応じて「採用予定日において40歳未満の方」との条件をつけて年齢の偏りを解消するように配慮している。	資料 2-2-③-02_教員の公募における応募資格等2	
(2) (1)以外に配慮している措置等はあるか。(以下:配慮措置例) ① 教育経歴 ② 実務経歴 ③ 男女比 ④ その他	☒ はい ☐ いいえ	【教育経歴】【実務経歴】【男女比】 採用面接においては、教育経歴・実務経歴を重視した面接を行っている。評価において同等と認められた場合には、女性を優先的に採用する方針を明記している。 【その他】 公募時の応募資格では、科研費・外部研究資金獲得に意欲がある方の応募について明記している。	資料 2-2-①-08_教員の公募 電子情報・物質工学科	*
(3) 在職する教員に対して教育研究水準の維持向上及び活性化を図るために行っている措置等はあるか。(以下:措置例) ① 学位取得に関する支援 ② 任期制の導入 ③ 公募制の導入 ④ 教員表彰制度の導入 ⑤ 企業研修への参加支援 ⑥ 校長裁量経費等の予算配分 ⑦ ゆとりの時間確保策の導入 ⑧ サバティカル制度の導入	☒ はい ☐ いいえ	学位取得に向けて取り組んでいる教員の担当科目数を減らすことで負担を軽減する支援を学科として行っている。 教員選考規則により公募制で行うことを定めている。 教育、研究、外部連携、学生指導の各分野において、特に顕著な功績をあげた教員を表彰している。	資料 2-2-③-03_学位取得に関する支援の実例(機械工学科) 資料 2-2-③-04_教員選考規則 資料 2-2-③-05_教員表彰式	

⑨ 他の教育機関との人事交流 ⑩ その他		必要に応じて校長裁量経費等の予算を配分している。 ゆとりの時間を確保するために週1日、授業を持たない日を設けるようにしている。 高専・両技科大間教員交流制度を利用し、教員を他高専へ派遣している。 研究発表等を促進するための研究発表推進経費を設けている。	資料 2-2-③-06_校長裁量経費配分方針及び実績(非公表) 資料 2-2-③-07_令和 4 年度 授業時間割(前期) 資料 2-2-③-08_令和 4 年度 授業時間割(後期) 資料 2-2-③-09_高専・両技科大間教員交流制度実施要項 資料 2-2-③-10_高専・両技科大教員交流制度に基づく人事交流の例がわかる資料 資料 2-2-③-11_研究発表推進経費(非公表)	
------------------------------------	--	--	--	--

2-3 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われていること。また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。

2-3-①

全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
------	------	------	------	----

(1) 全教員(非常勤教員を除く。)に対して校長又はその委任を受けた者による教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行い、その結果を基に給与・研究費配分への反映や教員組織の見直し等の適切な取組を行う体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	教育貢献、研究業績、外部連携貢献、学生指導功績などの点において、毎年度評価し、表彰している。	資料 2-3-①-01_国立高等専門学校教員顕彰実施要項(非公表) 資料 2-3-①-02_教員表彰規則(非公表) 資料 2-3-①-03_授業評価・学生の自己評価アンケート実施要項 資料 2-3-①-04_授業改善シート(令和3年度 改訂版)	
(2) (1)の体制の下、教員評価を実施しているか。	☒ はい ☐ いいえ	年1回の教員の教育業績等評価、年2回の学生による授業評価を実施している。	資料 2-3-①-05_教員の教育業績等評価(非公表) 資料 2-3-①-06_授業評価・学生評価アンケート結果	
(3) 把握した評価結果を基に、行っている取組はあるか。 (以下:取り組み例) ① 給与における措置 ② 研究費配分における措置 ③ 教員組織の見直し ④ 表彰 ⑤ その他	☒ はい ☐ いいえ	教育、研究、外部連携、学生指導の各分野において、特に顕著な功績をあげた教員を表彰し、ホームページで公表している。	教員表彰式	
(4) 非常勤教員に対し教員評価を行う体制を整備し、評価を実施しているか。	☒ はい ☐ いいえ	学生による授業評価を年2回実施している。	資料 2-3-①-03_授業評価・学生の自己評価アンケート実施要項	*

2-3-②

教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 教員(非常勤教員を除く。)の採用・昇格等に関する基準を法令に従い定めているか。	☒ はい ☐ いいえ	准教授と講師への昇任基準については、設置基準のとおり。	資料 2-3-②-01_教員選考規則(非公表) 資料 2-3-②-02_教員の教授昇任基準(非公表)	
(2) (1)で定められている基準等では、教育上の能力等を確認する仕組みとなっているか。(以下:確認事項の例) ① 模擬授業の実施 ② 教育歴の確認 ③ 実務経験の確認 ④ 海外経験・国際的な活動実績の確認 ⑤ その他	☒ はい ☐ いいえ		実務経験のある教員等による授業科目 資料 2-3-②-03_面接担当者の留意事項(非公表)	
(3) (1)の基準等に基づき、実際の採用・昇格等を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 2-3-②-04_教員の新規採用者数および昇任者数(非公表)	
(4) 非常勤教員の採用基準等を定めているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 2-3-②-05_非常勤講師の採用(非公表)	

2-4 教職員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われていること。また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等(事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。)が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。

2-4-①

授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究(ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。))が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
------	------	------	------	----

(1) 学校として、授業の内容及び方法の改善を図るためにFDを実施する体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 2-4-①-01_教育研究委員会規則 資料 2-4-①-02_PDCA サイクル体制 資料 2-3-①-03_授業評価・学生の自己評価アンケート実施要項	*
(2) 定期的にFDを実施しているか。	☒ はい ☐ いいえ	毎年度、教員教育の向上に向けて、教育に関連するセミナーを実施している。	資料 2-4-①-03_教育研究委員会実施事項 資料 2-4-①-04_高等教育セミナー 令和3年度授業公開	
(3) (2)のFDを実施した結果が、改善に結びついているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 2-3-①-06_授業評価・学生評価アンケート結果	*

2-4-②

学校における教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 教育支援者等を法令に従い適切に配置しているか。	☒ はい ☐ いいえ		教育研究支援センター組織図	
(2) 図書館に司書等の専門的職員を法令に従い適切に配置しているか。	☒ はい ☐ いいえ	図書館の職員配置に当たっては、群馬大学から司書資格を有する者を人事交流職員として配置している。		

2-4-③

教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再 掲
(1) 教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組を適切に行っているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 2-4-③-01_職員研修(非公表)	

項目3 管理運営

3-1 学校の目的を達成するために必要な管理運営体制及び事務組織が整備され、機能していること。また、外部の資源を積極的に活用していること。

3-1-①

管理運営の諸規程が整備され、各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 管理運営体制に関する規程等を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 3-1-①-01.運営組織規則	
(2) 委員会等の体制(諸規程・組織図等)を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 3-1-①-01.運営組織規則 資料 3-1-①-02.規則集目次 資料 3-1-①-03.運営委員会規則	*
(3) 校長、主事等の役割分担が明確になっているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 3-1-①-01.運営組織規則 資料 3-1-①-04.学則	*
(4) 事務組織の体制を規程等に基づき整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 3-1-①-05.事務組織規則	
(5) 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 3-1-①-06.教員会議規則 資料 3-1-①-07.研究・地域連携推進委員会規則	
(6) (1)～(5)の体制の下、効果的な活動を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 3-1-①-08.各種委員会開催回数等(校報 135 号より)	

3-1-②

危機管理を含む安全管理体制が整備されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学校として、責任の所在を明確にした危機管理を含む安全管理体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 3-1-②-01_リスク管理規則	
(2) 危機管理マニュアル等を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 3-1-②-02_リスク管理基本マニュアル	
(3) (1)(2)に基づき、定期的に訓練を行うなど、危機に備えた活動を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ	※防犯上の理由から資料を非公開とした。	資料 3-1-②-03_令和 3 年度防災訓練(非公表) 資料 3-1-②-04_令和 2 年度防災訓練(非公表) 資料 3-1-②-05_令和 3 年度情報セキュリティ訓練非常時対策本部設置記録(非公表) 資料 3-1-②-06_令和 2 年度情報セキュリティ訓練非常時対策本部設置記録(非公表)	
(4) キャンパス・ハラスメント防止等に関する体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 3-1-②-07_独立行政法人国立高等専門学校機構ハラスメントの防止等に関する規則 資料 3-1-②-08_キャンパス・ハラスメント防止等委員会規則 資料 3-1-②-09_キャンパス・ハラスメント防止ガイドライン 資料 3-1-②-10_学生相談室相談室員／キャンパス・ハラスメント相談員	

(5) (4)を、教職員・学生に周知しているか。	☒ はい ☐ いいえ		ホームページによるいじめ・ハラスメント防止対策の周知	
--------------------------	--	--	--	--

3-1-③

外部資金を積極的に受入れる取組を行っているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 外部の財務資源(科学研究費助成事業による外部資金、受託研究、共同研究、受託試験、奨学寄附金、同窓会等からの寄付金等)を積極的に受入れる取組を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ	※講習会実施詳細を含むため、講師等への配慮から一部資料を非公開とした	資料 3-1-③-01_過去5ヶ年の外部の財源資源の受入実績 資料 3-1-③-02_過去5ヶ年の科学研究費助成事業講習会(非公表)	
(2) 公的研究費を適正に管理するシステムが整備されているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 3-1-③-03_公的研究費等使用マニュアル 資料 3-1-③-04_公的研究費等の取扱いに関する規則 資料 3-1-③-05_群馬工業高等専門学校におけるコンプライアンス推進副責任者の任命について	

3-1-④

外部の教育資源を積極的に活用しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 外部の教育・研究資源を活用しているか。	☒ はい ☐ いいえ	※共同研究機関、連携・協力機関等への配慮のため一部資料を非公開とした。	資料 3-1-④-01_テクノ懇話会活動一覧(非公表)	

			資料 3-1-④-02_りょうもうアライアンスパンフレット 資料 3-1-④-03_イベント活動一覧(非公表) 資料 3-1-④-04_連携協定等一覧(非公表) 資料 3-1-④-05_共同研究完了報告書一覧(非公表)	
--	--	--	--	--

3-1-⑤

管理運営のための組織及び事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組(スタッフ・ディベロップメント(以下「SD」という。))が組織的に行われているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) SD等を実施する体制を整備し、かつ実施しているか。 (参加状況を含む)	☒ はい ☐ いいえ	※資料 3-1-⑤-02 について、詳細な SD 研修資料が記載された ver.を非公開資料として用意している。ファイル名『資料 3-1-⑤-02_令和 3 年度実施教員研修一覧(非公表)』	資料 3-1-⑤-01_機構教職員の研修に関する規則 資料 3-1-⑤-02_令和 3 年度実施教員研修一覧(校報 135 号)	

3-2 学校の教育研究活動等の状況やその活動の成果に関する情報を広く社会に提供していること。

3-2-①

学校における教育研究活動等の状況についての情報(学校教育法施行規則第 172 条の2に規定される事項を含む。)が公表されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲

(1) 教育情報を法令に従い適切に公表(HP 等)しているか。(以下:公表すべき内容) ① 教育上の目的及び三つの方針 ② 教育上の学科・専攻科名称に関する情報 ③ 教員及び教員組織に関する情報 (教員数、年齢構成、男女別人数、職別人数、保有学位・業績・職務上の実績・教員組織内の役割分担) ④ 学生に関する情報 (学生定員、入学定員(編入学定員含む)、入学者数、編入学者数、在学生数、卒業(修了)者数、進学者数、就職者数、卒業後の進路) ⑤ 教育課程に関する情報 (授業科目の名称(学則の別表、授業科目一覧等)、授業の方法及び内容並びに1年間の授業計画の概要(学期ごとのシラバス)) ⑥ 学修の成果に関する情報 (成績評価基準、進級認定基準(進級に必要な単位数を含む)、卒業(修了)認定基準(卒業(修了)に必要な単位数(必修、選択、自由科目別)含む)、取得可能な称号) ⑦ 学習環境に関する情報 (キャンパス概要、運動施設・課外活動の情報、学習環境、休憩環境、所在地、交通手段) ⑧ 学生納付金に関する情報 (授業料、入学料、入学検定料、学生寮等の宿舍の費用、教材購入費) ⑨ 学生支援と奨学金に関する情報	☒はい ☐いいえ		資料 3-2-①-01_教育研究活動情報等の刊行物への該当箇所一覧 資料 3-2-①-02_令和4年度学校要覧 p9-15_教育理念等 資料 3-2-①-03_令和4年度学校要覧 p8_組織図 資料 3-2-①-04_令和4年度学校要覧 p7_教職員数 年齢構成、男女別人数 資料 3-2-①-05_令和4年度学校要覧 p32-38_教員・担当科目 資料 3-2-①-06_令和4年度学校要覧 p44_共同研究等 資料 3-2-①-07_令和4年度学校要覧 p48_入学者数等 資料 3-2-①-08_令和4年度学校要覧 p7_学生定員等 資料 3-2-①-09_令和4年度学校要覧 p7_在学生数等 資料 3-2-①-10_令和4年度学校要覧 p49-50_卒業生の進路等 群馬高専 web シラバス
--	--	--	---

(学生支援(修学支援、進路選択支援、心身の健康に係る支援、障害者支援、留学生支援など)、奨学金の概要(奨学金の種類、要件、申し込み方法等))			資料 3-2-①-11_令和4年度学生便覧 p111-119_成績評価等内規 資料 3-2-①-12_令和4年度学生便覧 p143-146_専攻科履修規則 資料 3-2-①-13_令和4年度学校要覧 p39-43_図書館等 資料 3-2-①-14_令和4年度学生便覧 p256_諸納金 資料 3-2-①-15_令和4年度学生便覧 p182-183_学生相談室 資料 3-2-①-16_令和4年度学生便覧 p104_留学生相談員 資料 3-2-①-17_学生相談室リーフレット「よりよい明日へ向かって」(非公表) 資料 3-2-①-18_令和4年度学生便覧 p176-180_奨学金
---	--	--	--

項目4学生の受入れ

4-1 入学者の選抜が、アドミッション・ポリシーに沿って適切な方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。

4-1-①

【準学士課程及び専攻科課程共通】アドミッション・ポリシーに沿って適切な学生の入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) アドミッション・ポリシー、特に入学者選抜の基本方針に沿った入学者選抜方法(学生募集の方針、選抜区分(学力選抜、推薦選抜等。)、面接内容、配点・出題方針等。)となっているか。	☐ はい ☐ いいえ			

4-1-②

【準学士課程及び専攻科課程共通】アドミッション・ポリシーに沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制を整備しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、アドミッション・ポリシーに沿っているかどうかの検証を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(3) (2)の検証の結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	☐ はい ☐ いいえ			

4-1-③

実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 【準学士課程】学生定員を学科ごとに1学級当たり40人を標準として、学則で定めているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) 【専攻科課程】学生定員を専攻ごとに学則等で定めているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(3) 【準学士課程及び専攻科課程共通】学科(専攻)ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制を整備しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(4) 【準学士課程及び専攻科課程共通】過去5年間の学科(専攻)ごとの入学定員に対する実入学者数が適正であるか。	☐ はい ☐ いいえ			
(5) 【準学士課程及び専攻科課程共通】過去5年間で、実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			

項目5 学習・教育・研究の成果

5-1 【準学士課程】ディプロマ・ポリシーに照らして、学習・教育の成果が認められること。

5-1-①

成績評価・卒業認定の結果から判断して、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(3) (2)の結果から学習・教育の成果が認められるか。	☐ はい ☐ いいえ			

5-1-②

達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見聴取の結果から判断して、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・卒業生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	☐ はい ☐ いいえ			

(2) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(3) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業生(卒業後5年程度経った者)に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(4) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(5) (2)～(4)の評価結果から学習・教育の成果が認められるか。	☐ はい ☐ いいえ			

5-1-③

就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) 学校として把握している就職先や進学先は、各学科の養成しようとする人材像に適したものとなっているか。	☐ はい ☐ いいえ			

5-2 【専攻科課程】ディプロマ・ポリシーに照らして、学習・教育・研究の成果が認められること。

5-2-①

成績評価・修了認定の結果から判断して、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(3) (2)の結果から学習・教育・研究の成果が認められるか。	☐ はい ☐ いいえ			

5-2-②

達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・修了生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて、学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(3) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了生(修了直後でない者)に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			

(4) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育・研究の成果の把握・評価を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(5) (2)～(4)の評価結果から学習・教育・研究の成果が認められるか。	☐ はい ☐ いいえ			

5-2-③

就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学校として把握している最近5年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) 学校として把握している就職先や進学先は、各専攻の養成しようとする人材像に適したものとなっているか。	☐ はい ☐ いいえ			

5-2-④

修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 過去5年間の修了生の学位取得の状況から、学習等の成果が認められるか。	☐ はい ☐ いいえ			

項目6教育課程・教育方法

6－1準学士課程のカリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。

6－1－①

カリキュラム・ポリシーに基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) カリキュラム・ポリシーを踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) 一般教育の充実に配慮しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(3) 進級に関する規程を整備しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(4) 1年間の授業を行う期間を定期試験等の期間を含め、35週確保しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(5) 特別活動を90単位時間以上実施しているか。	☐ はい ☐ いいえ			

6－1－②

教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等を踏まえ、教育課程における配慮を行っているか。(以下:配慮例) ① インターンシップによる単位認定	☐ はい ☐ いいえ			

② 専攻科課程教育との連携 ③ 外国語の基礎能力(聞く・話す・読む・書く)の育成 ④ 資格取得に関する教育 ⑤ 他の高等教育機関との単位互換制度 ⑥ 最先端の技術に関する教育 ⑦ その他				
(2) 他の高等教育機関との単位互換制度を設けている場合、法令に従い適切に取り扱っているか。	☐ はい ☐ いいえ			

6-1-③

創造性・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 創造力を育む教育方法の工夫を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) 実践力を育む教育方法の工夫を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			

6-2 準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。

6-2-①

カリキュラム・ポリシーに照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲

(1) カリキュラム・ポリシーに照らして、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。また、授業形態のバランスは適切か。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) 教育内容に応じて、学習指導上の工夫を行っているか。(以下:工夫例) ① 教材の工夫 ② 少人数教育 ③ 対話・討論型授業 ④ フィールド型授業 ⑤ 情報機器の活用 ⑥ 基礎学力不足の学生に対する配慮 ⑦ その他	☐ はい ☐ いいえ			

6-2-2

カリキュラム・ポリシーの趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) カリキュラム・ポリシーを踏まえて適切に設定された項目に基づきシラバスを作成しているか。(以下:シラバス記載項目例) ① 授業科目名 ② 単位数 ③ 授業形態 ④ 対象学年 ⑤ 担当教員名 ⑥ 教育目標等との関係 ⑦ 達成目標	☐ はい ☐ いいえ			

⑧ 教育方法 ⑨ 教育内容 ⑩ 成績評価方法・基準 ⑪ 事前に行う準備学習 ⑫ 高等専門学校設置基準第 17 条第3項の規定に基づく授業科目か、4項の規定に基づく授業科目かの区別の明示 ⑬ 教科書・参考文献 ⑭ その他				
(2) 教員及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(3) 設置基準第 17 条第 3 項の 30 単位時間授業では1単位当たり 30 時間を確保しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(4) (3)の 30 単位時間授業では、1単位時間を 50 分としているか。50 分以外で運用している場合は標準 50 分に相当する教育内容を確保しているか。	☐ はい ☒ いいえ			
(5) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45 時間である授業科目を配置している場合には、授業科目ごとのシラバス、あるいはシラバス集、履修要項等に、1単位の履修時間は授業時間以外の学修等を合わせて 45 時間であることを明示しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(6) (5)の履修時間の実質化のための対策を講じているか。 ① 授業外学習の必要性の周知 ② 事前学習の徹底 ③ 事後展開学習の徹底 ④ 授業外学習の時間の把握	☐ はい ☐ いいえ			

⑤ その他				
-------	--	--	--	--

6-3 準学士課程のカリキュラム・ポリシー並びにディプロマ・ポリシーに基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。

6-3-①

成績評価・単位認定基準が、カリキュラム・ポリシーに従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 成績評価や単位認定に関する基準を、カリキュラム・ポリシーに基づき、策定しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(3) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(4) 成績評価や単位認定に関する基準を学生に周知しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(6) 定期試験以外の試験（追試、再試、追認試験等）の成績評価方法を定めているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(7) 成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会があるか。	☐ はい ☐ いいえ			

(8) 成績評価等の客観性、厳格性を担保するため、組織的な措置を行っているか。また、その措置が有効に機能しているか。(以下:措置例) ① 成績評価の妥当性の事後チェック ② 答案の返却 ③ 模範解答や採点基準の掲示 ④ 複数年次にわたり同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック ⑤ 試験問題のレベルが適切であることのチェック ⑥ その他	☐ はい ☐ いいえ			
---	---	--	--	--

6-3-2

卒業認定基準が、ディプロマ・ポリシーに従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学則等に、修業年限を5年と定めているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) ディプロマ・ポリシーに基づき、卒業認定基準を定めているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(3) 卒業認定基準に基づき、卒業認定しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(4) 卒業認定基準を学生に周知しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	☐ はい ☐ いいえ			

6-4 専攻科課程のカリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程のカリキュラム・ポリシー並びにディプロマ・ポリシーに基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。

6-4-①

カリキュラム・ポリシーに基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) カリキュラム・ポリシーを踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置しているか。	☐ はい ☐ いいえ			

6-4-②

準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 専攻科の教育課程は、準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮しているか。	☐ はい ☐ いいえ			

6-4-③

カリキュラム・ポリシーに照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) カリキュラム・ポリシーに基づき、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。また、授業形態のバランスは適切か。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) 教育内容に応じて、学習指導上の工夫を行っているか。(以下:工夫例)	☐ はい ☐ いいえ			

① 教材の工夫				
② 少人数教育				
③ 対話・討論型授業				
④ フィールド型授業				
⑤ 情報機器の活用				
⑥ 基礎学力不足の学生に対する配慮				
⑦ その他				

6-4-④

カリキュラム・ポリシーに基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学生への教養教育や研究指導を、適切に行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			

6-4-⑤

成績評価・単位認定基準が、カリキュラム・ポリシーに従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 成績評価や単位認定に関する基準を、カリキュラム・ポリシーに基づき、策定しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行っているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(3) 1単位の履修時間が授業時間以外の学修と合わせて45時間である授業科目を配置している場合、授業時間	☐ はい ☐ いいえ			

以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているか。				
(4) 成績評価や単位認定に関する基準を学生に周知しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(6) 追試、再試の成績評価方法を定めているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(7) 成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会があるか。	☐ はい ☐ いいえ			
(8) 成績評価等の客観性、厳格性を担保するため、組織的な措置を行っているか。また、その措置が有効に機能しているか。(以下:措置例) ① 成績評価の妥当性の事後チェック ② 答案の返却 ③ 模範解答や採点基準の掲示 ④ 複数年次にわたり同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック ⑤ 試験問題のレベルが適切であることのチェック ⑥ その他	☐ はい ☐ いいえ			

6-4-⑥

修了認定基準が、ディプロマ・ポリシーに従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学則等に、修業年限を1年以上と定めているか。	☐ はい ☐ いいえ			

(2) ディプロマ・ポリシーに基づき、修了認定基準を定めているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(3) 修了認定基準に基づき、修了認定しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(4) 修了認定基準を学生に周知しているか。	☐ はい ☐ いいえ			
(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	☐ はい ☐ いいえ			

令和6年度自己点検評価実施

項目7 学習環境及び学生支援等

7-1 学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。また、ICT 環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。

7-1-①

学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学校の校舎に専用の施設や、学科の種類に応じた附属施設を法令に従い適切に整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	高等専門学校設置基準 第23条に定めている一 校長室、教員室、会議室、事務室二 教室(講義室、演習室、実験・実習室等とする)、研究室三 図書館、保健室、学生控室情報処理(情報処理演習室)および語学の学習のための施設(LL 教室) 体育館、寄宿舍(寮)、課外活動施設(課外活動共用棟 I,II)などを備えている。講堂はないが、必要時には体育館や大講義室がその役割を兼ねる。	資料 7-1-①-01_令和4年度学生便覧 p277~281_構内配置図及び建物平面図	
(2) 自主的学習スペースを設けているか。	☒ はい ☐ いいえ	図書館建物内に学習室があるほか、閲覧室内にも学習用の机を配備している。図書館入口のホールでは、相談などしながらの自主的学習	資料 7-1-①-02_令和4年度学生便覧 p279_校舎内の配置図(図書館)(非公表)	

		スペースとして利用できるようになっている。その他、教室も放課後等には開放され、自主的学習に利用することができる。		
(3) 教育研究環境の充実を図るため、厚生施設やコミュニケーションスペースなどの施設・設備を設けているか。	☒ はい ☐ いいえ	【厚生施設】駐車場・食堂・プール・体育館・武道館・図書館・体育共用センター・女子更衣室・保健室・学生相談室 【コミュニケーションスペース】西湖・職員集会所・合宿研修施設・学生ホール・課外活動共用棟	資料 7-1-①-03_令和4年度学生便覧 p277_校内配置図および建物平面図 資料 7-1-①-04_令和4年度学生便覧 p278_校内配置図および建物平面図_管理棟	
(4) 施設・設備の安全衛生管理体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 7-1-①-05_安全衛生委員会規則 資料 7-1-①-06_運営委員会規則 資料 7-1-①-07_図書室使用細則 資料 7-1-①-08_情報基盤センタ一規則 資料 7-1-①-09_群嶺会館使用細則 資料 7-1-①-10_プール使用内規 資料 7-1-①-11_合宿研修施設使用規則	

			資料 7-1-①-12_学生相談室規則 資料 7-1-①-13_学生車両通学規則	
(5) (4)の体制が有効に機能するために、安全(指導)管理に係る講習会等を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ	安全衛生委員会は年に 10 回程度の頻度で開かれ、ローテーションで定めている学内の施設などの立ち入り調査を行い、安全上改善の必要なものについては提言を行っている。 (5) に挙げた各実習施設等について、全学科にわたり、各施設、設備等を使用する授業の中で、安全教育を行っている。該当するシラバスを挙げる。	資料 7-1-①-14_令和 4 年度第 1 回群馬工業高等専門学校安全衛生委員会議事録(非公表) 資料 7-1-①-15_令和 4 年度第 2 回群馬工業高等専門学校安全衛生委員会議事録(非公表) 資料 7-1-①-16_機械工学科工作実習 1 年シラバス 資料 7-1-①-17_機械工学科工作実習 2 年シラバス 資料 7-1-①-18_機械工学科工作実習 3 年シラバス 資料 7-1-①-19_機械工学科工学実験 4 年シラバス 資料 7-1-①-20_電子メディア工学科工学実験 2 年シラバス 資料 7-1-①-21_電子情報工学科工学実験実習 1 年シラバス 資料 7-1-①-22_物質工学科工学実験 1 年シラバス	

			資料 7-1-①-23_物質工学科工学実験 2 年シラバス 資料 7-1-①-24_物質工学科工学実験 3 年シラバス 資料 7-1-①-25_物質工学科工学実験 4 年シラバス 資料 7-1-①-26_物質工学科材料機能工学実験 4 年シラバス 資料 7-1-①-27_物質工学科生物機能工学実験 4 年シラバス 資料 7-1-①-28_環境都市工学科工学実験実習 4 年シラバス 資料 7-1-①-29_環境都市工学科総合プロジェクト 4 年シラバス 資料 7-1-①-30_環境都市工学科総合プロジェクト 5 年シラバス	
(6) 施設・設備のバリアフリー化への配慮を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 7-1-①-31_バリアフリー化施設・設備一覧	
(7) 整備された教育・生活環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	教員学生会連絡会を原則として毎学期(前期、後期各1回)開催し、学生会が実施したアンケートに基づく要望や課題を把握し、必要に応じて学校運営に反映している。	資料 7-1-①-32_群馬工業高等専門学校教員学生会連絡会内規	

		ダイバーシティ推進室会議において、男女共同参画推進の立場より、修学・職場環境の改善点を確認している。 「教員学生会連絡会」「ダイバーシティ推進委員会」等において、指摘事項を把握する過程は、資料 1-1-①-01 の、PDCA サイクルの C の過程（点検）に当たる。この後、運営委員会において結果が報告され、すぐに可能なものは運営委員会ならびに、各科、各委員会において改善の実行が行われる（A）。さらに、執行運営部会、運営委員会、各学科、各委員会において更なる改善計画が作成され（P）、各科、各委員会等においてその改善計画が実行される（D）。	資料 7-1-①-33_令和 4 年度 第 1 回ダイバーシティ推進室議事概要（非公表） 資料 7-1-①-34_令和 4 年度 第 2 回ダイバーシティ推進室会議資料（非公表） 資料 1-1-①-01_評価規則 資料 1-1-①-02_改善 PDCA サイクル図	* *
(8) (7)の体制において、教育・生活環境の利用状況や満足度等を把握し、改善等を実際に行っているか。	☒はい ☐いいえ	教員学生会連絡会を原則として毎学期（前期、後期各 1 回）開催し、学生会が実施したアンケートに基づく要望や課題を把握し、必要に応じて学校運営に反映している。	資料 7-1-①-35_令和 4 年度前期教員学生会連絡会資料（抜粋「施設について」）（非公表） 資料 7-1-①-36_令和 4 年度前期教員学生会連絡会 執行部回答用持ち資料（施設関係）（非公表）	

7-1-②

教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境を適切に整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 7-1-①-08_情報基盤センター規則 資料 7-1-②-01_令和4年度学校要覧_p40	*
(2) ICT環境のセキュリティ管理体制を適切に整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 7-1-②-02_独立行政法人国立高等専門学校機構情報セキュリティポリシー基本方針 https://www.kosen-k.go.jp/about/release/securitypolicy.html 資料 7-1-②-03_情報セキュリティ管理委員会規程 資料 7-1-②-04_情報セキュリティ推進委員会規程 資料 7-1-②-05_情報基盤センター規則 資料 7-1-②-06_情報基盤センター委員会規則 資料 7-1-②-07_情報セキュリティ管理委員会議事概要_R031006(非公表) 資料 7-1-②-08_情報セキュリティ管理委員会次第・資料_R031006(非公表)	

			資料 7-1-②-09_情報セキュリティ強化に係る「学生向け宣誓書」について 資料 7-1-②-10_Microsoft365 を利用した情報共有の注意点(学生向け) 資料 7-1-②-11_群馬高専学生向け情報セキュリティ宣誓書	
(3) ICT環境は有効に活用されているか。	☒ はい ☐ いいえ	資料に、令和 4 年度の使用教室入りの時間割を示した。情報基盤センター内の第1演習室、図書館内の第2演習室、ならびに電子情報工学科棟の情報処理実習室が、ICT 環境を整えて授業に使用できる教室である。時間割表をみてもわかるように、これらの教室の使用率はかなり高く、ICT 環境を有効に活用していると言える。	資料 7-1-②-12_情報機器を使用している授業科目(時間割)	
(4) (3)について学生や教職員のICT環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 7-1-②-06_情報基盤センター委員会規則	*
(5) (4)の体制が機能しているか。	☒ はい ☐ いいえ	情報基盤センター委員会が調査母体として、定期的に行う。 情報基盤センター委員会が主導となり、学生や教職員の ICT 環境の利用状況や満足度の把握と改	資料 7-1-②-13_学生アンケート集計結果 ICT 環境 資料 7-1-②-14_情報基盤センター委員会議事概要(非公表)	

		善を執り行うことが確認された。また、過去に学生からの改善要求の意見が出されたものについて、引き続き検討を行っている。 情報基盤センター委員会が改善について検討しており、資料 7-1-②-(5)-02 に示すとおり、改善要望のあった校内における Wi-Fi 環境に関し、令和2年度は試行的に専攻科生、5 年生対象に申請を実施した。令和 3 年度は Wi-Fi（校内無線 LAN）への接続申請を全学年対象に受付する予定としている。		
--	--	---	--	--

7-1-③

図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 図書館の設備を法令に従い備えているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 7-1-③-01_図書館規則	
(2) 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を系統的に収集、整理しているか。	☒ はい ☐ いいえ		資料 7-1-③-02_図書館利用実績	
(3) (2)の資料は、教職員や学生に有効に活用されているか。	☒ はい ☐ いいえ	電子ジャーナル利用統計	資料 7-1-③-03_令和 4 年度第 1 回図書委員会_資料 6_電子ジャ	

			ーナル等コンソーシアム経費及び利用統計 資料 7-1-③-02_図書館利用実績 資料 7-1-③-04_令和4年度学校要覧 p39	*
(4) (2)の資料が有効に活用されるための取組を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ	開館時間への配慮	資料 7-1-①-07_図書室使用細則 資料 7-1-③-05_図書館ガイダンス資料 資料 7-1-③-06_図書館利用のしおり	*

7-2 教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。

7-2-①

履修等に関するガイダンスを実施しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 教育を実施する上でガイダンスを実施しているか。(以下:対象者例) ① 学科生 ② 専攻科生 ③ 編入学生 ④ 留学生 ⑤ 障害のある学生	☒ はい ☐ いいえ	学科1年生や専攻科1年生、編入学生など新規学生に対するガイダンスを実施している。毎年度はじめに全学生に対して伝達事項を周知している。また、転学科生や留学生などに対しては、受け入れ学科ごとに個別に対応している。	資料 7-2-①-01_新入生ガイダンス資料 資料 7-2-①-02_令和2年度はじめの学生への伝達事項(1～3年)	

⑥ 社会人学生 ⑦ その他			資料 7-2-①-03_令和 2 年度はじめの学生への伝達事項4年生 資料 7-2-①-04_令和 2 年度はじめの学生への伝達事項5年生 資料 7-2-①-05_令和 2 年度学生生活を送るための諸注意 資料 7-2-①-06_令和 2 年度専攻科 1 年生ガイダンス 資料 7-2-①-07_編入学者オリエンテーション実施要項	
------------------	--	--	---	--

7-2-②

学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学生の自主的学習を進める上で、相談・助言体制を整備しているか。(以下:相談・助言体制例) ① 担任制・指導教員制の整備 ② 対面型の相談受付体制の整備 ③ 電子メールによる相談受付体制の整備 ④ ICT を活用した成績確認や学習相談等に関するシステムの整備	☒ はい ☐ いいえ	学習相談等に利用できるシステムとして、学生は Microsoft365 環境で提供されるメールや Teams を利用することができる。	資料 7-2-②-01_運営組織規則 資料 7-2-②-02_令和 4 年度学生便覧_p273_学級担任一覧 資料 7-2-②-03_令和 4 年度学生便覧_p182-183_学生相談室	

⑤ 資格試験・検定試験等の支援体制の整備 ⑥ 外国への留学に関する支援体制の整備 ⑦ その他			資料 7-2-②-04.TOEIC_IP 掲示 資料 7-2-②-05.実用英検・工業英検(1～5 年生)学生宛 資料 7-2-②-06.各種検定試験及び海外語学研修に係る単位認定及び授業科目への振替に関する内規 資料 7-2-②-07.語学、資格取得関係書籍コーナー写真 資料 7-2-②-08.語学、資格取得関係書籍リスト 資料 7-2-②-09.令和元年度オーストラリア語学研修・第 1 回説明会掲示 資料 7-2-②-10.令和元年度オーストラリア・マレーシア報告会開催のお知らせ 学生相談室	
---	--	--	--	--

(2) (1)は、学生に利用されているか。	☒ はい ☐ いいえ	令和2年度以降、コロナ禍のため海外語学研修は実施を見合わせている。TOEIC IP 試験はここ数年、3年生及び専攻科生を主な対象に実施し、毎年200名以上の学生が受験している。	資料 7-2-②-11_TOEIC 追加受験者数 令和2年度 資料 7-2-②-12_オーストラリア語学研修報告	
(3) 学習支援に関して学生のニーズを把握するための制度があるか。(以下:制度例) ① 担任制・指導教員制の導入 ② 学生との懇談会 ③ 意見投書箱 ④ その他	☒ はい ☐ いいえ	クラス運営については担任制を導入し、複数名の教職員でクラス運営にあたっている。また、教員学生会連絡会を定期的に実施し、学生のニーズを把握している。	資料 7-2-②-01_運営組織規則 資料 7-2-②-13_教員学生会連絡会内規	*
(4) (3)は、有効に機能しているか。	☒ はい ☐ いいえ	令和4年度は4月から担任が個別面談を実施し、個々の学生の状況把握に努めている。また、毎年実施される教員学生会連絡会も学生の意見を把握するために活用されている。	資料 7-2-②-14_教育相談月間に係る令和4年度4月期全学年対象担任面談(非公表)	

7-2-③

特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲

(1) 留学生の学習及び生活に対する支援体制を整備し、必要に応じて支援を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ	国際交流室を中心に支援体制を整備が行われている。留学生の学習をサポートする時間割編成や、学校生活等を支援する留学生チューターなどの制度も整備・運用されている。	資料 7-2-③-01_外国人留学生規則 資料 7-2-③-02_国際交流室委員会規則 資料 7-2-③-03_令和3年度留学生授業時間割表 資料 7-2-③-04_令和3年度留学生チューター（非公表） 資料 7-2-③-05_令和3年度留学生チューター時間数報告書（非公表）	
(2) 編入学生の学習及び生活に対する支援体制を整備し、必要に応じて支援を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ	編入学生受け入れのための制度が用意されているほか、受け入れ時にはオリエンテーションを実施している。また、受け入れ学科ごとに支援を行っている。	資料 7-2-③-06_教務委員会規則 資料 7-2-①-07_編入学者オリエンテーション実施要項	*
(3) 社会人学生の学習及び生活に対する支援体制を整備し、必要に応じて支援を行っているか。	☐ はい ☒ いいえ	これまでに学生受け入れ実績がなく、体制の整備には至っていない。	資料 7-2-③-07_専攻科委員会規則	
(4) LGBT 学生の生活に対する支援体制を整備し、必要に応じて支援を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ	学生からの相談窓口として学生相談室が利用できる。また学生からの	学生相談室	*

		相談に応じて、学生相談室・保健室・担任等が情報共有しながら、個別対応している。 その他、「呼称への配慮」「名簿の表記」「多目的トイレへのチェンジングボードの設置」などを進めている。		
(5) 障害のある学生の学習及び生活に対する支援体制を整備し、必要に応じて支援を行っているか。	☒ はい ☐ いいえ	受け入れ学生の状況に合わせて支援体制を整え、個別対応している。 バリアフリー化に向けて引き戸の設置などの対応を行っている。	資料 7-2-③-08_発達障害のある学生への対応について 資料 7-2-③-09_発達障害のある学生への対応検討会 資料 7-2-③-10_引き戸の設置および車いす用機の導入(差替え)	
(6) 障害者差別解消法第5条及び第7条又は第8条(第9条、第10条、第11条の関係条項も含む。)に対応しているか。	☒ はい ☐ いいえ	資料にあるとおり、対応を明文化している。	資料 7-2-③-11_障害を理由とする差別の解消の推進 資料 7-2-③-12_障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領	
(7) (1)～(6)以外の特別な支援を行っているか。	☐ はい ☒ いいえ	(1)～(6)以外の特別な支援を必要とする学生が在籍していないため。		

7-2-④

学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学生の生活や経済面における指導・相談・助言等の体制を整備しているか。(以下:体制例) ① 学生相談室 ② 保健センター ③ 相談員・カウンセラーの配置 ④ ハラスメント等の相談体制 ⑤ 学生に対する相談の案内等 ⑥ 奨学金 ⑦ 授業料免除 ⑧ いじめ防止・早期発見・対処等の体制 ⑨ その他	☒はい ☐いいえ	資料の通り、学生相談室や保健室の設置、相談員・カウンセラーの配置、いじめ・ハラスメント等の防止対策と相談体制の明文化、学生に対する相談窓口等の案内、奨学金や授業料・入学金免除などへの対応について、体制が整備されている。	資料 7-2-④-01_事務組織規則 資料 7-2-②-03_令和4年度学生便覧_p182-183_学生相談室 資料 7-2-④-02_令和4年度学生便覧_p183_健康管理 学生相談室 いじめ・ハラスメント防止対策 奨学金 授業料・入学金免除制度 授業料免除申請について	* *

(2) 健康診断及び健康相談・保健指導を定期的実施しているか。	☒ はい ☐ いいえ	健康診断を定期的実施している。 健康相談を保健室で個別に行っている。	資料 7-2-④-02_令和4年度学生便覧_p183_健康管理 資料 7-2-④-03_令和3年度学生定期健康診断スケジュール表	*
(3) (2)以外で、(1)の体制に基づいた学生の生活や経済面における指導・相談・助言等の活動が実際に学生に利用されているか。	☒ はい ☐ いいえ	学生相談室での相談を受け付けているほか、シグマテストは学校適応感尺度調査などにより、定期的に学生の状況把握に努めている。	資料 7-2-④-04_学生相談室 令和3年度活動予定	

7-2-⑤

就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	進路支援室、およびインターンシップ支援室を設置し、支援体制を整えている。	資料 7-2-⑤-01_進路支援室規則 資料 7-2-⑤-02_インターンシップ支援室規則	
(2) (1)の体制の下、就職や進学等の進路指導を含めたキャリア教育に関して、学校として取組を行っているか。 (以下:取り組み例) ① キャリア教育に関する研修会・講演会の実施 ② 進路指導用マニュアルの作成 ③ 進路指導ガイダンスの実施	☒ はい ☐ いいえ	4年生に対する進路説明会、専攻科1年生に対する進路説明会を実施するとともに、進路指導連絡会議により指導に関する情報交換・改善検討等を行っている。	資料 7-2-⑤-03_4年生進路説明会 資料 7-2-⑤-04_専攻科1年進路説明会	

④ 進路指導室 ⑤ 進路先(企業)訪問 ⑥ 進学・就職に関する説明会 ⑦ 資格取得による単位修得の認定 ⑧ 外国留学に関する手続きの支援、単位認定、交流協定の締結等 ⑨ その他		インターンシップに関する支援のほか、授業「企業論」では企業経験者等を講師に招き企業活動に関する学習機会を設けている。 各種検定試験、海外語学留学、インターンシップを単位認定する制度も整備している。	資料 7-2-⑤-05_進路指導連絡会議 資料 7-2-⑤-06_インターンシップ 資料 7-2-⑤-07_企業論シラバス 資料 7-2-②-05_実用英検・工業英検(1～5年生)学生宛 資料 7-2-②-06_各種検定試験及び海外語学研修に係る単位認定及び授業科目への振替に関する内規 国際交流室 本学専攻科生産システム工学専攻「企業論」シラバス(本学専攻科環境工学専攻「企業論」シラバスも同内容)	* *
(3) (2)の取組が機能しているか。	☒はい ☐いいえ	進路説明会や進路指導連絡会議を定期的の実施している。インターン	資料 7-2-⑤-08_インターンシップ派遣先(非公表)	

		シップ参加や英語検定試験結果を単位認定する制度を整備している。	資料 7-2-⑤-09_TOEIC による令和2年度授業への振替	
--	--	---------------------------------	--	--

7-2-⑥

学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学生の課外活動に対する支援体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	課外活動を学生会の各クラブ等において実施し、各クラブ等には顧問教員をつけるなどの支援体制を整えている。	資料 7-2-⑥-01_令和4年度学生便覧 p195_課外活動 資料 7-2-⑥-02_令和4年度学生便覧 pp274-275_顧問教員一覧	
(2) (1)の体制において、責任の所在が明確になっているか。	☒ はい ☐ いいえ	厚生補導委員会を中心として対応している。	資料 7-2-⑥-03_厚生補導委員会規則	
(3) 学校としての支援活動の内容からみて、(1)の体制が機能しているか。	☒ はい ☐ いいえ	年度初めの「部長・顧問教員連絡会議」にて情報の確認・共有を実施、厚生補導委員会で「クラブ活動報告」を確認している。活動状況に応じた設備充実も適宜進めている。	資料 7-2-⑥-04_部長顧問教員連絡会議目次_抜粋(非公表)	

7-2-⑦

学生寮が、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学生寮の管理・運営体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	学寮規則など、学寮の管理・運営体制が整備されている。	資料 7-2-⑦-01_令和4年度学生便覧 pp233-250(学寮関係抜粋) 資料 7-2-⑦-02_学則 学則 学生寮	
(2) 学生寮を生活の場、勉学の場として整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	学生の居室や食堂、洗濯室などの住環境のほか、学習室などの勉学の場としての環境整備も行われている。	学生寮	*
(3) (2)について、有効に機能しているか。	☒ はい ☐ いいえ	学生寮の収容率が高い。学生アンケートでも寮が学習の場として定着しており、学生生活を送る上での生活基盤となっていることが確認できる。	資料 7-2-⑦-03_寮生アンケート結果 資料 7-2-⑦-04_学生寮収容率	

7-3 学校として、いじめの未然防止、早期発見、事案対処(いじめの防止等)の体制が整備され、機能していること。

7-3-①

いじめを防止するための体制を適切に整備し、学生に周知しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
------	------	------	------	----

(1) いじめ防止等に関する体制を整備しているか。	☒はい ☐いいえ	本校におけるいじめの防止等のための対策に関する基本的な計画、対策委員会の設置と規則の制定、いじめ防止プログラム、いじめ早期発見・事案対処マニュアル、相談対応流れ図等が定め、体制を整えている。	群馬工業高等専門学校におけるいじめ防止等基本計画 群馬工業高等専門学校いじめ対策委員会規則 群馬工業高等専門学校キャンパス・ハラスメント防止等委員会規則 群馬工業高等専門学校いじめ防止プログラム 群馬工業高等専門学校いじめ早期発見・事案対処マニュアル いじめ、キャンパス・ハラスメント相談対応流れ図 いじめ・ハラスメント防止対策	*
(2) (1)を、学生に周知しているか。	☒はい ☐いいえ	校内掲示物やホームページでの情報掲載、ホームルーム等で教員が口頭により学生に周知している。	群馬工業高等専門学校いじめ防止ガイドライン	

			群馬工業高等専門学校キャンパス・ハラスメント防止ガイドライン いじめ・ハラスメント防止対策	*
--	--	--	--	---

7-3-②

いじめに関する学生アンケート等を行う等適切に把握し、未然防止・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) いじめの未然防止・把握の観点から、学生や教職員に対して定期的に意見聴取を行い、学校として把握し、改善を行う体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	いじめ防止等基本計画に基づき、体制を整備している。	群馬工業高等専門学校におけるいじめ防止等基本計画	*
(2) (1)の体制が機能しているか。	☒ はい ☐ いいえ	担任面談による関係構築のほか、シグマテスト、学校適応感尺度調査などによるアンケート調査の実施し、把握に努めている。また、定期的にいじめ対策委員会を実施し、継続的にPDCAサイクルに基づき改善に努めている。	資料 7-2-②-14_教育相談月間に係る令和4年度4月期全学年対象担任面談(非公表) 資料 7-3-②_01_学校適応感尺度調査について依頼メール(非公表) 資料 7-3-②_02_シグマテスト実施依頼メール(非公表) 資料 7-3-②_03_「仲間とのかかわり」についてのアンケート実施依頼メール(非公表)	*

			校報 135 号	
(3) いじめに関する通報及び相談を受け付けるための体制が整備されているか。	☒ はい ☐ いいえ	防止対策や相談窓口・相談員、相談対応の流れなどの体制が整備されている。	いじめ・ハラスメント防止対策 いじめ、キャンパス・ハラスメント相談員 いじめ、キャンパス・ハラスメント相談対応流れ図	* *
(4) (3)は、有効に機能しているか。	☒ はい ☐ いいえ	相談者にとって複数の相談先を確保している。ただし、ホームページに掲載している「キャンパス・ハラスメント相談員」については、年度更新された様子が確認できなかったが、令和4年11月の再点検では更新されていた。変更の都度、定期的に更新することを求めた。	いじめ、キャンパス・ハラスメント相談員	*

7-3-③

教職員に対して、いじめを防止するための教育・研修等を定期的実施しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
------	------	------	------	----

(1) 教職員に対して、いじめを防止するための教育・研修等を定期的に実施しているか。	☒はい ☐いいえ	定期的に研修等が実施されている。	資料 7-3-③-01_メール_国立高等専門学校機構いじめ防止等研修会の開催通知(非公表) 資料 7-3-③-02_メール_令和2年度厚生補導研究会の開催通知(非公表)	
---	--	-------------------------	--	--

項目8 研究活動、地域貢献活動、国際交流の状況

8-1 学校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果が得られていること。

8-1-①

研究活動に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 研究活動に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めているか。	☒ はい ☐ いいえ	群馬工業高等専門学校における研究活動の目的と基本方針を明記している。	資料 8-1-①-01_研究活動の目的と基本方針	

8-1-②

研究活動の目的等に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための実施体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	地域連携テクノセンターは、研究活動等を推進し、社会貢献に資することを目的として整備している。さらに研究・地域連携推進委員会の設置により、研究活動等を含む地域連携推進を担っている。	資料 8-1-②-01_研究・地域連携推進委員会規則 資料 8-1-②-02_地域連携テクノセンター規則	
(2) 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための設備等を含む研究体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	学校要覧や地域連携テクノセンターパンフレットにおいて、各種設備を示	資料 8-1-②-03_地域連携テクノセンター利用規程	

		すとともに、利用規程において実際の利用について定めている。	資料 8-1-②-04_地域連携テクノロジーセンターの紹介 資料 8-1-②-05_地域連携テクノロジーセンター機器紹介	
(3) 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための支援体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	研究支援について明確に書かれた資料があるほか、設備の保守等の費用についての支援や研究発表推進経費による支援も明文化している。	資料 8-1-②-06_教育・研究支援経費について(非公開) 資料 8-1-②-07_研究発表推進経費について(非公開) 資料 8-1-②-08_教育研究基盤設備維持経費について(非公開)	
(4) (1)～(3)の体制の下、研究活動が十分に行われているか。	☒ はい ☐ いいえ	外部資金獲得状況からも研究が十分に行われていることがわかる。各教員の研究活動は本校ホームページ(researchmap)からわかる。	資料 8-1-②-09_令和3年度外部資金獲得状況(非公開) 資料 8-1-②-10_教員の研究活動が分かるホームページ	*

8-1-③

研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。また、問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学校が設定した研究活動の目的等に照らして、成果が得られているか。	☒ はい ☐ いいえ	各教員の研究活動は本校ホームページ(researchmap)からわかる。さらに校報においては、研究発表のみならず特許や学会等表彰についても記載している。	資料 8-1-③-01_校報第 134 号(非公開) 資料 8-1-②-10_教員の研究活動が分かるホームページ	*
(2) (1)で把握した成果を基に問題点等を把握し、それを改善に結び付けるための体制を整備し、機能しているか。	☒ はい ☐ いいえ	「群馬工業高等専門学校自己点検・評価委員会規則(平成 28 年 7 月 21 日制定)」は廃止され、「群馬工	資料 8-1-③-03_評価規則	

		業高等専門学校評価規則」が令和 4 年 7 月 6 日から施行された。		
--	--	--	--	--

8-2 学校の地域貢献活動等に関する目的等に照らして、地域貢献活動が適切に行われ、活動の成果が認められていること。

8-2-①

地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めているか。	☒ はい ☐ いいえ	本校における地域貢献活動等の目的と基本方針を校長裁定により定めている。	資料 8-2-①-01_地域貢献活動等の目的と基本方針	

8-2-②

地域貢献活動等の目的に照らして、活動が計画的に実施されているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学校が設定した地域貢献活動等について、具体的な方針を策定しているか。	☒ はい ☐ いいえ	地域貢献活動の中心となる地域連携テクノセンターを設置し、その利用規程を定めている。	資料 8-2-②-01_地域連携テクノセンター利用規程	
(2) (1)の方針に基づき計画的に実施しているか。	☒ はい ☐ いいえ	地域貢献活動として、人材育成講座、出前授業、公開講座などを計画・実施している。開催概要などは本校ホームページで広く周知している。また校報には、上記の活動実績を記載し、公表している。	資料 8-2-②-02_人材育成講座の実施案内 資料 8-2-②-03_人材育成講座の実施案内 出前授業・セミナー・公開講座校報	

8-2-③

地域貢献活動等の実績や活動参加者等の満足度等から判断して、目的に沿った活動の成果が認められるか。また、問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学校が設定した地域貢献活動等の目的等に照らして、成果が認められるか。	☒ はい ☐ いいえ	実施した人材育成講座の参加者によるアンケート結果、および校報には参加者人数などを記載している。また環境都市工学科のホームページには出前授業の様子や、学校だよりには、SSS(スマートサイエンススクール)、ひらめきときめきサイエンス、生物教育研究連携シンポジウムなどの地域向けの行事を実施したことを成果として公開している。	資料 8-2-③-01_人材育成講座のアンケート結果 校報 出前授業の実践例1 学校だより 125 号	
(2) (1)で把握した成果を基に問題点等を把握し、それを改善に結び付けるための体制を整備し、機能しているか。	☒ はい ☐ いいえ	改善に結びつけるための体制整備に関する規則を定めている。	資料 8-1-③-03_評価規則	*

8-3 国際交流を行う体制が整備され、機能していること。

8-3-①

国際交流を実施する上で必要な運営体制を整備し、機能しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 国際交流を実施する上で必要な運営体制を整備しているか。	☒ はい ☐ いいえ	国際交流を実施するための国際交流室、および委員会を規則により定め運営している。	資料 8-3-①-01_国際交流室委員会規則	

(2) (1)は機能しているか。	☒ はい ☐ いいえ	本校のホームページに国際交流室の案内を掲載し、活動事例を紹介している。	資料 8-3-①-02_国際交流室ホームページ 国際交流室 国際交流の実践例1 国際交流の実践例2	
------------------	--	-------------------------------------	--	--

8-3-②

学生・教職員の国際交流支援体制を整備し、機能しているか。

評価項目	評価結果	補足説明	参考資料	再掲
(1) 学生の海外への留学支援体制を整備し、機能しているか。	☒ はい ☐ いいえ	国際交流室を設置し、留学を希望する学生に対してサポートできる支援体制を整えている。	資料 8-3-②-01_オーストラリア語学研修報告 国際交流室	
(2) 外国人留学生を受け入れる体制を整備し、機能しているか。	☒ はい ☐ いいえ	外国人留学生を受け入れる体制(規則)を整備し、生活面等をサポートするチューター制度を設けている。また、受け入れの中心となる学生寮の情報もホームページで公開している。	資料 8-3-②-02_外国人留学生規則 資料 8-3-②-03_令和2年度留学生チューター学生寮 資料 8-3-②-04_留学生研修旅行	
(3) 教員の国際交流体制を整備し、機能しているか。	☒ はい ☐ いいえ	在外研究員として派遣するための制度を設けメールで周知している。また、在外研究員としての派遣実績を学校要覧に掲載している。	資料 8-3-②-05_「独立行政法人国立高等専門学校機構在外研究員制度」募集要項(非公表) 資料 8-3-②-06_在外研究員派遣に関する取扱い	

			資料 8-3-②-07_在外研究員派遣	
--	--	--	-------------------------------------	--